

# 初動対応検討ワーキンググループ の検討

令和3年3月25日  
環境省 環境再生・資源循環局  
災害廃棄物対策室

# 1. 初動対応検討ワーキンググループの概要

- 環境省では、市区町村が災害時初動対応を検討する際の参考となるよう、平成30年度に「一般廃棄物処理に関する災害時初動対応の手引き(案)」を作成した。
- 令和元年度は、同手引き(案)を基に、①有識者等による初動対応検討ワーキンググループ、②市区町村における初動対応のモデル検証、③全国の自治体及び関係団体への意見照会を通して、「災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き」を作成した。
- 令和2年度は、①モデル演習の実施、②自治体向けマニュアル等への反映の検討、③手引きの内容の充実、④初動対応の重要性を伝える動画の作成を実施した。

## <座長>

中林 一樹 明治大学 研究・知財戦略機構 研究推進員  
(首都大学東京・東京都立大学 名誉教授 工学博士)

## <委員>

浅利 美鈴 京都大学大学院地球環境学堂 准教授  
大川 敏彰 全国都市清掃会議 総務部長  
中川 永樹 京都府長岡京市 環境経済部 環境業務課 主幹  
佐野 能弘 千葉県館山市 建設環境部 環境課 副課長  
宗 清生 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 災害環境マネジメント戦略推進オフィス  
武田 和彦 東京都 環境局 資源循環推進部 計画課 課長代理 (計画担当)  
渡邊 高之 茨城県常総市 市長公室 市民と共に考える課 課長補佐

## <事務局>

環境省  
(株) 三菱総合研究所

## 2. モデル演習の実施

※昨年度(朝倉市、板橋区)の継続

- モデル自治体(千葉県館山市、京都府長岡京市)において、手引き(案)を活用した平時の検討と災害時の初動対応演習を行うことで、災害時初動対応に資する手引きに必要な記載要素を検証した。
- モデル検証の実施にあたっては、モデル自治体との会議を3回実施した。環境部局職員はもちろんのこと、災害対応時の密な連携が想定される防災部局、道路部局等の関係部局にも参加いただいた。

	千葉県館山市 (11/12,1/18,2/15)	京都府長岡京市 (11/19,1/21,2/19)
参加部署	環境課、環境センター 危機管理室、総務課、下水道課  <b>オブザーバ:</b> 関東地方環境事務所 全国都市清掃会議、千葉県、3R財団	環境業務課、乙訓環境衛生組合 防災・安全推進室、道路・河川課 交通政策課、広報発信課、等 <b>オブザーバ:</b> 近畿/関東地方環境事務所 全国都市清掃会議、京都府
会議風景 (第1回)		
会議内容	第1回：平時の検討(第3章)、第2回：災害時の初動対応(第2章) 第3回：手引きの修正版、普及方策	
想定災害	令和元年度房総半島台風による風水害	災害廃棄物処理計画で想定している風水害 (淀川水系や小畑川他による洪水等)

### 3. 自治体向けマニュアル等への反映の検討

- 災害時の一般廃棄物処理は防災に係る他の取組とも密接に関連するため、他の取組で災害時の一般廃棄物処理を位置づけるとともに、他の取組の関連文書との整合を図るため、自治体向けマニュアル等への反映方法を検討した。並行して、関係省庁からの照会への回答を行った。

対象とする自治体向けマニュアル等	現状分析を踏まえた主な提案事項	
災害対応を包括的に扱う文書 *1	大規模災害発生時における地方公共団体の業務継続の手引き（内閣府）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害対応に関する他の対応と同程度に廃棄物に関する記載があるため、<b>現状で記載が無い広域支援や参考資料での情報の追加と、タイムラインに関する初動対応の手引きとの整合を提案。</b></li> </ul>
	市町村のための人的応援の受入れに関する受援計画作成の手引き（内閣府）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「災害廃棄物の処理」は業務負担が大きい5つの業務の1つであり、災害対応に関する他の対応と同程度以上に廃棄物に関する記載があるため、<b>タイムラインに関する初動対応の手引きとの整合を提案。</b></li> </ul>
	市町村のための水害対応の手引き（内閣府）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「災害廃棄物対策」は10のポイントの業務の1つであり、全体を通して災害対応に関する他の対応と同程度以上に廃棄物に関する記載があるため、<b>現状で記載が無い初動対応の手引きに関する情報の追加を提案する。</b></li> <li>● 生活ごみや避難所ごみ、し尿は、水害対応の手引きの対象となっていないため、<b>「災害廃棄物対策」を「廃棄物対策」に変更し、追記することを提案。</b></li> </ul>
	市町村のための降雪対応の手引き（内閣府）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害復旧・被災者支援で「災害廃棄物対策」が代表的な業務の1つであり、全体を通して災害対応に関する他の対応と同程度以上に廃棄物に関する記載があるため、<b>現状で記載が無い初動対応の手引きに関する情報の追記を提案。</b></li> </ul>
一般廃棄物処理と関係が深い取組に関する文書 *2	下水道BCP策定マニュアル（国土交通省）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BCPに関する先行的な取組として下水道分野は参考となるものの、下水道分野にとって一般廃棄物処理は防災や道路等と比較して関係性が薄いため、既に初動対応の手引き等の紹介もされており、下水道に係る災害時初動対応との関係で廃棄物に関する記載の追加や修正は見当たらない。</li> </ul>

\*1：内閣府の「地方公共団体の業務継続・受援体制」で公開されている文書を主な対象とした。

\*2：道路BCPもあるが、実際の取組が主に国道等に限られることやガイドラインが公表されていないため、対象外とした。

# 4. 手引きの内容の充実

- 以下の①②③を踏まえて、本編の改訂や様式記入例や参考事例の追加など、手引きの充実を図った。
  - ①モデル演習の結果として得られた成果
  - ②令和元年東日本台風等における初動対応の振り返り
  - ③被災地ヒアリングの結果（熊本県人吉市等）

## 主な修正点

- **水害と地震の書き分けの充実**  
例) 写真を並べて整理、特徴的な廃棄物の種類を並記
- **実態を踏まえた修正**  
例) 発災24時間以内の発生量推計は困難（表現修正）、タイムラインの図で一部の対応の時期を前倒した
- **説明の追記・充実**  
例) 再委託の特例、必要な資金調達の重要性、記載内容のとおり対応できない場合の代替手段、実地訓練の写真
- **参考資料の追記**  
例) 資源循環学会（リチウムイオン電池等）や環境省（太陽光パネル）のガイドライン、国環研の研修ガイドブック
- **使いやすさ・見やすさの改善**  
例) 関連する様式や後段記載ページの追記（参照先を青色で表示）

## 修正例

初期期の混乱の例	地震での例	水害での例
庁舎被災により執務環境の確保が困難		
処理施設被災により廃棄物処理の継続が困難		
直後から仮設トイレや避難所ごみの収集が発生		
路上に溢れる廃棄物の収集に奔走		

### 【参考】災害廃棄物処理に必要な資金調達の重要性

災害廃棄物処理には多額の費用を要し、自治体の一般財源や災害関連経費に占める割合も大きい。資金不足を心配して必要な対応を行えない場合には、災害廃棄物処理に重大な支障を来す可能性がある。

このように、災害廃棄物処理を円滑に進めるためには必要な資金の調達が不可欠であり、以下の点に留意して必要な資金を調達する。

- ・災害廃棄物処理は国庫補助の対象事業であるため、環境省の「災害関係業務事務処理マニュアル（自治体事務担当者用）」を平時から熟読し、災害時も同マニュアルに沿って対応する。

表 主な事前検討事項

		主な検討事項
1	職員の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認</li> <li>・職員参集</li> </ul>
2	災害時の組織体制と役割分担 【資料1】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理の災害時初動対応を実施する組織体制と役割分担</li> </ul>
3	関係連絡先リスト 【資料2】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理の初動対応を実施する支援者を含めた関係者の連絡先リスト</li> </ul>
4	被害状況チェックリスト 【資料3】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理施設や収集運搬車両等の被害状況のチェックリスト</li> </ul>

# 5. 初動対応の重要性を伝える動画の作成

- 非常災害発生時の災害廃棄物対策における初動対応の重要性を視覚的に訴えるため、特に被災経験のない自治体の職員を対象とした動画を作成した。今年度中に環境省ホームページにて公開予定(下記URL)。

[http://kouikishori.env.go.jp/document\\_video/](http://kouikishori.env.go.jp/document_video/)

## 実施方針・ポイント

- 自治体の担当職員に「初動対応の手引き」を手にとってもらうきっかけとする。
- そのために、被災経験のない自治体の職員に、危機感を持ってもらう。  
例) どの自治体でも起こりうる。想像を超えた様々な深刻な事態が発生する。平時の業務の延長では対応できない。
- 他部署等との連携が必要なため、首長や関連部署の職員にも連携の必要性や、同様の危機感を共有いただく。
- 被災経験のない自治体の職員や関連部署の職員等にも負担が少なく興味を持ってもらえるように、20分程度の動画(実務版)だけでなく、コンパクトにまとめた導入版(5分程度)も作成した。

## 動画の構成(イメージ)

● 説明する、△ 紹介する、— 取り扱わない

項目	No.	伝えたいメッセージ	表示・説明する内容(例)	表現方法	導入	実務
キャッチ	1	災害時には想像を超える深刻な事態が発生	記憶に新しい近年の災害の実際の様子	動画・写真	●	●
オープニング タイトル	2-1	初動対応には庁内連携が不可欠	災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応【導入版】～連携の重要性～	テキスト	●	—
	2-2	初動対応への理解と準備が不可欠	【実務版】～様々な対応と事前の準備～	テキスト	—	●
被災によるインパクト	3	どの自治体でも被災する可能性	近年の災害の発生状況	図	●	●
	4	平時の業務の延長では対応できない	被災自治体担当職員の声	インタビュー	●	●
災害時に発生する一般廃棄物の特徴	5	平時とは比較にならない大量な廃棄物	発生量	図・写真	△	●
	6	災害時に特有な廃棄物への対応	災害時に発生する一般廃棄物と処理/廃棄物のイメージ	図・写真	●	●
初動対応を円滑に行うためのポイント	7	発災直後から多様な対応が発生	タイムラインの概要(「手引き」①～⑤)	図	△	●
	8	体制確保のために庁内理解・協力が必要	①安全及び組織体制の確保	図	●	●
	9	発生量の推計が各種判断・対応のベース	②被災情報の収集・処理方針の判断	図・インタビュー	—	●
	10	災害時に特有な避難所ごみや仮設トイレ等のし尿への対応も発生	③生活ごみ・避難所ごみ・し尿の収集運搬体制の確保	図・写真	△	●
	11	多種多様・大量な災害廃棄物が発生、仮置場の確保や分別の周知等が必要	④災害廃棄物の処理体制の確保(仮置場の確保と分別の周知等)	図・写真	△	●
	12	継続には外部応援が不可欠	⑤継続的な一般廃棄物処理体制の確保	図	—	●
タイトル	13	今すぐ事前検討を始めてみよう!	【実務版】を是非ご覧ください。	テキスト	●	●

# 5. 初動対応の重要性を伝える動画の作成

画面イメージの例



## 災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応

～初動対応への理解と準備が不可欠～

【実務版】

環境省



災害廃棄物処理のポイント

はじめに仮置場は災害廃棄物処理を行う上での要だと思っていますので



初動対応のポイント

仮置場での各種対策

環境省 一宮市環境入部・環境対策センター

